

各回の講義テーマと「授業に含まれている内容・要素 (MDASH-Literacy)」「モデルカリキュラム (リテラシーレベル)」との対応

授業科目名称、講義テーマ	授業に含まれている内容・要素	モデルカリキュラムとの対応
データサイエンス概論1：人間、社会、科学技術とデータサイエンス		
第1回 人間、社会、科学技術とデータ	(1)	1-1
第2回 日常生活とデータサイエンス	(1) (2) (3) (4)	1-6、1-3、3-1
第3回 ビジネスとデータサイエンス	(1) (2) (3) (4)	1-6、1-3、3-1
第4回 政策決定・政策評価とデータサイエンス	(2) (3) (4)	1-3、3-1
第5回 データサイエンスに関連する法と倫理	(4)	3-1、3-2
データサイエンス概論2：データサイエンスの手法		
第1回 特徴を理解する	(3) (5)	1-4、2-1、2-2
第2回 違いを確かめる	(5)	2-2
第3回 原因を探る	(3) (5)	2-1
第4回 新たな発見をする、将来を予測する	(1) (3)	1-1、1-4
第5回 データを準備する	(2) (5)	1-2、2-1

授業に含まれている内容・要素 (MDASH-Literacy)

- (1) 現在進行中の社会変化 (第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等) に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている
- (2) 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの
- (3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域 (流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等) の知見と組み合わせることで価値を創出するもの
- (4) 活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等) を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする
- (5) 実データ・実課題 (学術データ等を含む) を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの